

研修 評価

研修名	高齢者の尊厳を支える看取り				
領 域	ケアする力を高める研修	会場	看護研修センター	受講料	会 員：3,080 円 非会員：6,160 円
対 象	ラダーレベルⅡ～Ⅳ 募集数(60人)応募数(83人)参加数(64人)会員数(59人)非会員数(5人)				
日 時	令和 5年5月26日(金曜日) 10:00～16:00				
ねらい(目標)	高齢者の特徴を理解し、人生の最終段階を向かえる患者とその家族の意思決定支援や尊厳を支えるケアを学ぶ				
講 師	和田奈美子				
内容・方法	<p>○講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老いることの意味と老衰死及び終末期の状態像の変化 ・全人的苦痛(身体・心理・社会的・スピリチュアル) ・アドバンス・ケア・プランニング(ACP) ・倫理的課題(意思決定支援の考え方) <p>○研修方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義 一つのテーブルに一人のスクール形式 ・GW 事例を用いて本人の意思決定支援のあり方及び家族の意向確認の支援について共有する 				
結果・評価 (受講者の意見 感想)	<p>○評価方法：アンケート アンケート回収率 70%</p> <p>○自己課題の達成度：達成できた、ほぼ達成できたを合わせると 95.5%であった</p> <p>○受講者の満足度：満足できた、ほぼ満足できたを合わせると 100%であった</p> <p>○受講者の理解度：理解できた、ほぼ理解できたを合わせると 100%であった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで他病院の視点や直接話すことのない訪問看護師の意見を聞けて良かった ・認知症だと意思決定が困難だと思っていたが、日々のケアで本人の意思をくみ取っていきたいと思った 				
企画の評価	<p>○目標・内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の特徴を理解した上で個別性の関わりが必要であることや、患者との対話が意思決定支援において大切であるという意見や感想が多く、ねらいは達成できた。 <p>○プログラムの妥当性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修内容の「整合性はあった」「ほぼあった」を合わせると 100%であり妥当であった。 <p>○事前準備・当日の運営など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に問題なし 				
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークで一つひとつの事例を検討したため時間が足りないという意見があった。講師との調整が必要。 				
担当者	教育委員				